

第27回  
椿窯

# 佐藤珠幸 陶展

～花挿しと記念公園の花たちと春のうつわ～



泥彩花生

令和3年 4月29日(木)～5月30日(日)

会場 朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日休館)

観覧料 大人200(160)円、小中高生／無料 ※()内は20名以上の団体料金

・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は無料です。

会期中、自宅(椿窯)にて  
窯場展も同時開催

主催：豊後大野市(朝倉文夫記念館)

後援：大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム



# 椿窯 佐藤珠幸 陶展

～花挿しと記念公園の花たちと春のうつわ～

佐藤珠幸(東陶会理事)は、1950(昭和25)年、北九州市若松区生まれ。小学生の頃から陶芸に興味を抱き、1968(同43)年、上京。ベーシックデザインを学び、1971(同46)年、東京クラフトデザイン研究所陶磁器専攻科を卒業。常滑秘色焼にて修業ののち、1975(同50)年、静岡県焼津市に窯を開き、1989(平成元年)年、竹田市に移窯。さらに、当時の朝地町長の再三の要請を受け、1993(同5)年には朝地町へ移窯。祖母山・傾山を見渡す現豊後大野市朝地町鳥田に椿窯を開き、自然の中に身を置きながら、幅広い表現技法を獲得して、伝統性と近代性の共存する、味わい深い、独自の陶芸世界を形成しました。1993年より当館で始まった個展も、今年で27回目を迎えます。昨年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために展示できなかった、「花挿し」をテーマとした花の器に、朝倉文夫記念公園付近の花木を生けて展示します。また、春らしい色合いの器も合わせて展示します。ぜひ、ご鑑賞ください。



釉裏紅掛花挿し



釉裏紅花挿し



白釉 釉裏紅花生



白釉 釉裏紅盛鉢



東陶会理事

## 「椿窯」主宰 佐藤珠幸

豊後大野市朝地町在住

- 1950年 北九州市若松区に生まれる
- 1971年 東京クラフトデザイン研究所陶磁器専攻科卒業
- 1972年 常滑秘色焼入社
- 1975年 静岡県焼津に窯を開く
- 1989年 大分県竹田市に移窯
- 1993年 大分県朝地町に移窯
- 1993年～ 椿窯 佐藤珠幸 陶展
- 以降ほぼ毎年開催(朝倉文夫記念文化ホール)
- 大丸東京店美術画廊個展(数回)
- 東陶会展
- 長三賞常滑陶芸展 長三賞受賞
- 産業輸出デザイン展出品
- 南アフリカ JAPAN 展出品
- 富嶽展入選
- 静岡県芸術祭受賞
- 朝日陶芸展入選
- 第13回国民文化祭・おおいた98 野外陶芸展受賞



青瓷菓子鉢



方口



マグカップ



釉裏紅花生

会期中、  
自宅(椿窯)にて  
窯場展も同時開催

Fumio Asakura Museum of Sculpture  
朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11  
愛の園生 朝倉文夫記念公園 TEL.0974-72-1300

<http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/asakura/>

